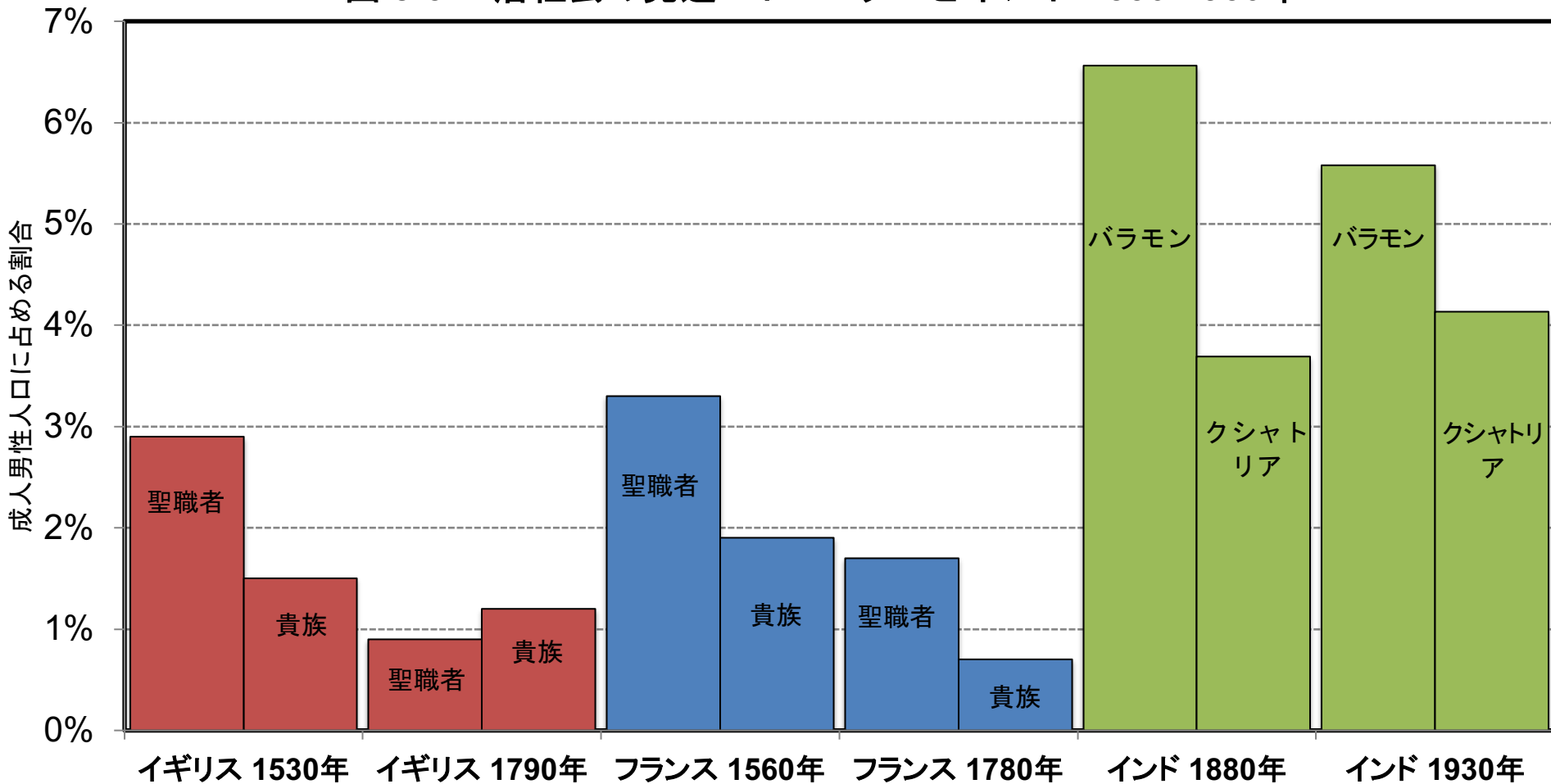


図 8-3 三層社会の発達: ヨーロッパとインド 1530-1930年



解説. イギリスとフランスでは、三層社会の支配階級2つ (聖職者と貴族) は16世紀から18世紀にかけて、数的な重要性が下がりつつあった。インドでは、バラモンとクシャトリア (古代の聖職者と戦士の階級) の構成比は、イギリスの植民地国勢調査によれば1880年から1930年にかけて少し下がったが、16-18世紀ヨーロッパでの対応階級と比べればきわめて高い水準だった。出所と時系列データ: [piketty.pse.ens.fr/ideology](http://piketty.pse.ens.fr/ideology) 参照